

氏名	藤原 寛 康
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 号
学位授与の日付	平成16年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系放射線医学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Hepatic Infarction Following Abdominal Interventional Procedure (腹部IVRに関連して生じる肝梗塞)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 白鳥 康史 教授 小出 典男

学位論文内容の要旨

この10年間に当施設で行われた1982件の腹部血管造影、腹部CTの所見、臨床記録を調べたところ、8症例において9件の肝梗塞をIVR後に生じたことがわかった。そのうち5件では手術後の出血性ショックに対して緊急動脈塞栓術を施行していた。3件は肝細胞癌に対するIVRを行っており、残りの1例では肝動脈と門脈の両方に留置されたカテーテルから12ヶ月間化学療法を行った症例であった。血管造影では肝動脈閉塞が全例、門脈血流障害が5件に認められた。肝梗塞発症前から肝機能障害を有していた4症例は肝梗塞により死亡したが、CTでの梗塞の大きさと予後との関係ははっきりしなかった。IVRに関連して生じる肝梗塞は頻度は低いが、出血性ショックにおける緊急動脈塞栓術の場合に起こりやすい傾向が見られ、死にいたる症例もみられた。肝機能障害があり、複数の危険因子を持つ場合は、その予後に関しては注意が必要である。

論文審査結果の要旨

本研究は、腹部 Interventional Radiology の手技に続いて生じた肝梗塞の症例を調査し、発生頻度、患者背景、Interventional Radiology の種類、経過、危険因子を詳細に検討したものであるが、従来十分確立されていなかった腹部 Interventional Radiology 後に発生した肝梗塞に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。